

沼津市営住宅今沢団地建替基本構想(案)に関する意見募集の結果について

番号	意見の内容(要約)	意見に対する考え方
1	<p><現状> 今沢団地の現状、市営住宅に関する現状は分析されているように思いますが、沼津市全体の空き家動向、人口減少、世帯減少といった状況を考える必要があるのではないかと感じます。 住宅、営繕という点では、建物維持、補修、保全、建替と思考しがちだと思いますが、既存の建物を活用する、という思考を入れるべきだと思います。 今後、世帯減少が引き続き継続するならば、建替よりも既存の建物、空き家を活用する、という方向で当面は動き、空き家活用に民間活力をいれる、というのがよいかと思います。</p> <p><既存建物> 上記のような形となった場合には、今沢団地自体が空き家となっていくと思います。その場合の対応は、「解体」という案と、「活用」という案があるのではないかと思います。 「解体」とした場合、更地になりますので、地域の活性化のために活用する、駐車場不足対応とする、コストコといった大規模キーテナントを呼び込むなど、の施策。 「活用」とした場合、エレベータが無いなどの問題があるため若年層への低価格、セルフリノベーション物件とする、などクリエイタを呼び込むようなキー施設にする、など考えられるのではないかと思います。</p> <p><最後に> 想像ですが、現在お住まいの方の対応、移転調整などで繁忙ではないかと思えます。つい、建替、現在の方をトコロテン方式で転居してもらって終わりにしたい、という思いになってしまいがちなくらい大変なお仕事かと思えます。 ぜひ、エレベータがない→エレベータ付きの建物に移転といった短絡的な思考にならないようにしていただきたいと思えます。 市民からの声もあまりなく、モチベーション低下しがちかもしれません。市民として申し訳なく思います。 ぜひ、サイレントマジョリティーに賛同される策を期待しています。</p>	<p>市営住宅の整備・管理については、平成29年9月策定の「沼津市営住宅の整備・管理に関する実施計画」において、本市の人口や世帯の減少などの現状分析を行うとともに、住棟の築年数や避難の安全性、居住性を踏まえて「既存ストックの維持管理・改善、建替、廃止」の整備手法を判定しております。 その中で、今沢団地については、建物や住設備の老朽化が著しいことや、避難の安全性などの課題を踏まえて「建替」と判定したものです。</p> <p>また、本基本構想案では、建替えによる居住環境の向上や入居者の高齢化を踏まえつつ若者世帯及び子育て世帯の入居の促進に配慮してユニバーサルデザインによる居住環境の整備をするとともに、多世代交流のためのオープンスペースの整備や地域の住民も利用できる福祉施設等の導入を検討することとしています。</p> <p>さらに、施設整備及び管理運営においては、民間の創意工夫や民間の資金、経営能力及び技術的能力の活用を積極的に検討します。</p> <p>なお、移転につきましては、今後、入居者の方々に対して丁寧な説明を行うとともに、各々の意向をお聞きしながら適切に進めてまいります。</p>

番号	意見の内容(要約)	意見に対する考え方
2	<p>今一番設置して欲しいのは、エレベーターです。高齢化がどんどん進み階段の上り下りが苦手になり家の中に閉じ込めざるを得ない人も多々あります。エレベーターがあれば腰やひざが悪くても外出できます。</p> <p>コミュニティの場所が少ない。A8-110にて現在、「木曜サロン」を週1回開催していて私自身もボランティアで参加させて頂いていますが何せ手狭です。もう少し広い場所が欲しいです。軽い体操や常備おしゃべりのできるサロン(集会所+サロン+体育館)を建物1階に作ってくれば高齢者だけでなく3世代交流の場所になると思います。</p> <p>いつ起きるかわからない自然災害のために屋上を一時避難場所にして欲しいです。屋上に手摺を設け皆をそこに誘導したらどうですか？高齢者は逃げろと言われてもそんな遠くには逃げられません。近くに避難所があったら安心です。</p>	<p>ご意見のとおり、現在の今沢団地はエレベーターが設置されていないため、高齢者をはじめとした入居者の階段昇降に負担となっておりますが、建替えに伴いエレベーターの設置も考慮したユニバーサルデザインによる居住環境を整備します。</p> <p>コミュニティの場所については、地域の人も含めた交流の場や食事の提供ができるような集会所を整備します。また、良好な地域コミュニティの形成や多世代交流のための緑地やオープンスペースを整備するとともに入居者だけでなく地域の人も利用できるような福祉施設等の導入を検討することとしています。なお、施設の規模などについては、今後、基本計画の中で具体化してまいります。</p> <p>地震対策や浸水被害に対しては防災性能の向上に配慮したハード整備をするとともに、安全な場所へ迅速に避難できるような避難計画も検討する必要があると考えています。</p>

番号	意見の内容(要約)	意見に対する考え方
3 (その他 意見)	<p>稚拙ながら、沼津市民として意見を添えさせていただきます。結論から述べます。内容が重厚すぎて、読みきれません。</p> <p>53ページにもわたる詳細な内容には敬意を表しますが、実際に内容の妥当性を市民に問うには、よほどの速読術をもって当たらない限り把握し切れるものではないと思われます。そのための概要版の提供なのかもしれません。しかし、視覚重視のためか画像も文字も小さすぎて、大画面のPCでなければ判読に苦慮し概要把握もままならないと思われます。</p> <p>これだけの資料を準備されるご担当の苦労は察するに余りある一方、情報を享受する側の視点に立つなら、より吟味した内容に凝縮した資料を希望したいと思います。より効率的に情報を提供する工夫は、市民への広報を充実させるのみならず、公務員の働き方改革のヒントにもなり得ると思います。</p> <p>広報の重要性と、有効性は相反するジレンマといわれます。前栗原沼津市長も、元大沼沼津市長も、その難しさを嘆いておられました。</p> <p>市政の公開と理解に、パブリック・インボルブメントの重要性はいうまでもありませんが、そのフィードバックをより確実にするには、情報提供の粒度を当事者である市民の視点で考慮する必要があります。</p> <p>市の提案に数件の市民フィードバックしかない現実には、関心の有無にかかわらず、おそらくほとんどの市民がその提案じたいを知らないからではないかと思えます。</p> <p>本件への直接的な意見提示にならず申しわけありませんが、市政への住民参加の意味で具申する次第です。断片的な市政の実現とならぬよう、広報の充実に抜本的な改革をお願いいたします。</p>	<p>パブリック・コメントの実施に当たり、意見を募集する構想案について、市ホームページ上の電子媒体のほか、各市民窓口事務所や市立図書館などの公共施設で本案と合わせて、その概要をまとめた図書を閲覧できるようにしているところですが、ご指摘の内容を踏まえて、要点を絞った内容とするなど、さらに分かりやすく、見やすい資料の作成に努めてまいります。</p>